



胆沢区

市民の憩う故郷の森に育て

胆沢ダム原石山で植樹会

胆沢ダム原石山森づくりの会による植樹会が6月17日、ダムの採石を行った原石山（大森）を会場に行われました。会員や水沢農業高校の生徒ら約140人が参加し、ダム周辺で4年前から採取し育ててきたブナやナラなどの苗木を植えました。

参加者は、石の混じった固い土にスコップやツルハシで穴を開けると苗木を植え、伐採木のチップで作られた肥料を優しくかけていました。ことし10月にも、植樹会が計画されています。

植樹作業に汗を流す水沢農業高校の生徒



「衣川ええどご推進会」設立総会

衣川区

協働のまちづくり組織発足

衣川地区ええどご推進会が設立

衣川地区協働のまちづくり組織「衣川ええどご推進会」の設立総会が7月3日、衣川保健福祉センターで開催されました。

この会は、地区住民の創意による自主的なまちづくりや、地区の特性を活かした衣川地区のコミュニティ活性化を目的として設立されました。出席した小沢昌記市長は「小さな声も届くまちづくりにして欲しい」と祝辞。提出された議案は満場一致で可決。会長には、衣川地区振興会会長の佐藤利男さんが選出されました。



水沢区

今も続く水沢商人の心意気

第50回水沢商人まつり



天候にも恵まれ、大勢の人出でにぎわった商人まつり

奥州商工会議所（千葉龍二郎会頭）が主催する「第50回水沢商人まつり」が6月12日、水沢駅通りを会場に開催されました。春と秋、合わせて50回目の開催となった同イベント。当日は朝から好天に恵まれ、開会式前から詰め掛けた多くの市民らで、会場は大きなにぎわいを見せました。

先着プレゼントが配られるステージ前には、開会式前から長蛇の列が。プレゼントを受け取った人たちは笑顔をのぞかせていました。詰め掛けた市民らは、会場に連なる65店舗の出店での買い物や、イベント広場の舞踊ショーをはじめ、さまざまな催しで、楽しいひと時を過ごしていました。



水沢区

咲かそう市民協働参加の花

水沢フラワーロード花苗植栽

水沢フラワーロード運営実行委員会（菅原睦夫委員長）が主催する「水沢フラワーロード全体作業（花苗植栽）」が6月11日早朝、国道4号金ヶ崎バイパス中央分離帯で実施されました。

昭和57年から市民憲章推進活動の一環として実施している同作業、今年も市民ら約600人が参加。ジニア8000本、マリーゴールド8000本を植栽しました。早朝からの雨模様でしたが、無事作業を終えた参加者は、安堵の表情を浮かべていました。

ジニアとマリーゴールドを植栽する参加者



日も落ちて、笑い声が響く蔵町モール

江刺区

夕暮れに笑顔が集う屋台村

蔵町モール屋台村がオープン

奥州商工会議所が主催する「蔵町モール屋台村」は6月17日から26日までの間、江刺区蔵町モールで開催されました。

市内から6店が出店し、焼き鳥などの定番メニューから、流し卵めんや韓国料理など趣向を凝らしたもので、自慢の味を提供。蔵と屋台が織り成す昔懐かしい雰囲気の中、訪れた人たちは店自慢の料理を酒のさかなに笑顔を見せていました。同屋台村は、ことしの8月と10月にも開催される予定です。



胆沢区

国の指定史跡を花で彩ろう

もっと花ある角塚古墳プロジェクト

南都田地区振興会（村上謙会長）は6月5日、国道397号沿いにある「角塚古墳」周辺で、花の苗植えやコスモスの種まきを行いました。これは、車の通行量の多い場所にある国指定史跡の古墳を、もっとたくさんの人に見てもらいたいと企画したものです。

地区の住民や高校生、ボランティアら約100人が参加。黒いマルチにあげられた穴に、サルビアやマリーゴールドの苗約1,000本を丁寧に植えつけました。コスモスは9月中旬ごろに見ごろを迎えます。

みんなで声を掛け合って、手際よく作業は進んでいきました



多くの人でにぎわうまえさわ牛横丁

前沢区

前沢牛をお手軽に楽しんで

金曜の夕方は、まえさわ牛横丁

7月1日、前沢区の旧岩手銀行前沢支店跡地で、まえさわ牛横丁が初めて開催されました。

このイベントは、同実行委員会（千田健市実行委員長）が中心となり、前沢牛を身近に味わってほしいと企画したものです。開会式では、小沢昌記市長をはじめ多数の来賓が出席し、テープカットでオープンを祝いました。晴天にも恵まれこの日、会場は多くの人出で大にぎわい。訪れた人たちは、前沢牛を炭火焼きで味わい、満面の笑顔を見せていました。